

医学部附属病院 白杵手術部長が第49回社会貢献者表彰を受賞

北アルプスで40年間続けている山岳医療ボランティア活動と、国内で同様に活動する山岳診療所からデータを収集し、スポーツ庁等の関係機関にその解析結果を報告していることが評価され、受賞に至りました。

11月27日、帝国ホテル東京で式典が行われ、日本社会貢献支援財団の安倍昭恵会長、内閣

牧子選考委員長からの挨拶のあと、安倍会長から表彰状が渡されました。受賞者の多くが団体での受賞であったこともあり、会場には600人以上の方々が集まり華やかな雰囲気の中で式典となりました。



舟橋正浩教授らの研究が、Wiley社の電子ジャーナル "Chemistry Select" の表紙を飾りました。

2017年12月21日に発行された、ヨーロッパの化学系学術電子ジャーナル "Chemistry Select" に、来年度から香川大学創造工学部先端マテリアルコースを担当する予定の舟橋正浩教授らの研究論文が掲載され、そのジャーナルの表紙を飾りました。

Chemistry Select は、ChemPubSoc Europe (欧州の16化学会の連合体) が、代表的な学術出版社である Wiley 社から発行する重要な学術雑誌です。

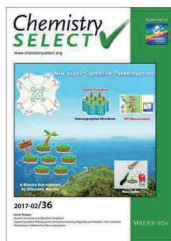
舟橋教授および香川大学工学研究科博士課程の学生である山岡龍太郎さんは、アルキル側鎖にオリゴシロキサン部位を導入した液晶性フタロシアニンを合成。フタロシアニンは不溶不融の粉末で、顔料として使用されていました。半導体としても優れた

特性を示し、太陽電池への応用が検討されていますが、薄膜作製には真空プロセスが必要でした。有機溶媒に可溶で光伝導性を示す液晶性フタロシアニンも、これまでいくつかのグループによって合成されていますが、室温で結晶性の粉末であり均一な薄膜の作製は困難でした。

今回開発された液晶性フタロシアニンは、側鎖にシリコンオイルの部分構造であるオリゴシロキサン部位を導入しているため、有機溶媒への溶解性が高く、室温でワックス状の液晶状態です。液晶状態では分子が一次元的に積層したカラム凝集体を形成しており、カラム凝集体を基板に平行に、あるいは垂直に立てて並べることができます。また、電子とホールがカラム凝集体に

沿って効率的に伝導します。

液晶状態では、電子機能を持つ結晶的なカラム凝集体と、液体的なオリゴシロキサンがナノメータスケールで相分離しているため、液体的な柔軟性と結晶的な電気伝導性を併せ持つ凝集体構造が形成されます。ジャーナルの表紙の画像は、液晶状態での分子凝集体構造を青い海に島々が点在する瀬戸内海の風景になぞらえて表現したものです。



大学改革の広告が「第47回 四国新聞広告賞」優秀賞を受賞

本学が7月29日に四国新聞に掲載した大学改革の広告「DESIGN YOUR FUTURE 香川から世界を変えよう。」が「第47回四国新聞広告賞」優秀賞を受賞しました。同賞は豊かなアイデアと優れたデザインやコピーで獨創性に優れたローカル広告に贈られるもので、12月20日、四国新聞社で行われた表彰式に寛善行学長が出席しました。

審査委員長であるクリエイティブ・ディレクターの佐藤可士和氏からは「キャッチコピーを中心に捉えたデザインが美しい。新設される創造工学部で“ものづくり”と“価値づくり”というこれから最も必要とされる学問を学ぶことを美しいデザインで表現。先進的でインパクトのあるイメージを評価したい。」というコメントをいただきました。



発行：香川大学広報室
soumkot@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

香川大学ホームページ
https://www.kagawa-u.ac.jp/



理事閑話

香川大学理事・副学長 山下明昭

現在は、まだスタニスワフ・レム氏作のSF小説「ソラリス」や手塚治虫氏の作品「鉄腕アトム」のような世界までには至っていませんが、専門分野も猛スピードで陳腐化していく時代となって参りました。これまで人間にしかできなかったことが、AI (人工知能) [Artificial Intelligence] に取って代わられるということもそんなに遠い世界ではないと東京大学大学院技術経営戦略学専攻の松尾豊特任准教授(香川大学附属坂出小・中卒)が述べられています。

2030年頃には、今のAIの概念を超えた次世代のAIが生まれていると予測する研究者もいます。AIと人間との境目は、生物か否かになるのでしょうか。AIが人間を超える時それは、SF小説「ソラリス」のような世界となっていくのでしょうか。益々人間とは何かという研究が重要になってくるような気がします。「ソラリス」の中に「分からなさを引き受けながらも答えを求め続ける」という表現がありますが、未来を託されてい

る皆さんには、このような感性を身に着けることが重要な時代になってきたのではないのでしょうか。

この感性を磨くために学友と共に「ワクワク感」や「ドキドキ感」「知的好奇心」を研ぎ澄まし「他者を感じる感性」を豊かにすることで、AIとの違いが生まれてくるのではないのでしょうか。しかし、世界トップの大学院でいくら学んでも「この壳」「お前なんか死んでしまえ」では、せつかくの高等教育機関での学も無意味なものになってしまいます。知識に裏づけられた知性とともに、異なった知識や考え方に對しても尊敬と共感を持ちながらコミュニケーションをする。そして学び続けることで未知への冒険者としての感性が研ぎ澄まされるのではないのでしょうか。



香大サークル紹介



ローターアクトクラブ『RAC』

月に2回みんなで集まり、3つの委員会がローテーションで企画するレクリエーションやスライドショーで、ゆる〜く交流を深めます！定期・不定期ボランティア、たくさん活動あり！坂出塩祭り、ひろえぼ街が好きになる運動(ひろ街)、女木島清掃、石あかりロード、福島の子どもたちおいでプロジェクト(おいでプロ)など、まだまだたくさん！

■活動場所：教育学部棟



硬式テニス部

硬式テニス部は、テニスを楽しむことはもちろん、年に一度の王座という団体戦で昇格するために全力でテニスに打ち込んでいます。練習時間はもちろん、テニス部は空きコマなどにも気軽にテニスコートを使うことができます。テニス好きが集まっているので、みんな仲が良く楽しい雰囲気です♪

■活動場所：教育学部キャンパステニスコート



医学部 剣道部

毎週月、水、金の午後6時から午後7時半まで練習をしています。監督の先生がいらないため、キャプテンを中心として練習メニューを考えています。西医体・西コマや中四国大会、四国大会といった試合で勝つことや、昇級、昇段審査に合格することを目標にして、日々の稽古を行っています。新歓の時期や夏にはBBQをしたりするなど練習以外の楽しい行事もたくさんあります。

■活動場所：香川大学医学部武道場